



長岡第四中学校 学校だより

TEL (075)951-2112 FAX (075)951-8430
 ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/nagaoka4-jhs/cms/>
 E-mail nagaoka4-jhs@kyoto-be.ne.jp

To The Next

校長 高橋 泰三



保護者の皆さま、地域の皆さま、日ごろは本校の教育活動についてご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。5月末からの3年生の修学旅行及び1,2年生の校外学習が無事に終わりました。四中では今回の修学旅行から沖縄方面に行くことにしました(令和9年度まで。その後は未定です)。その事前学習として、今年2月には京都府立大学の奥谷三穂先生をお招きして講演をしていただきました。新聞記事を通して私が知り合った奥谷先生が、京都に所縁のある方々が沖縄戦においてどのような経験をしてこられたかを、聞き取り調査や沖縄でのフィールドワークを通して研究を深めていらっしゃることを知り、四中での講演をお願いしたところ快く引き受けてくださったものです。今回の修学旅行では「平和」について考えることを目的に、ひめゆり平和祈念資料館、系数豪(アブチラガマ)へ行きました。ひめゆり平和祈念資料館には予定より早く到着したため、当初の滞在時間を延長して1時間以上の見学となりました。たまたま後から入ってきた他校の生徒たちは先に退出(四中とは逆に時間が押していたのかも知れませんが)していましたが、四中の生徒たちは時間ぎりぎりまで、本当に真剣に証言ビデオを見たり、パネルを読んだりして熱心にメモを取っていました。また資料館出口付近にあった「感想コーナー」において、誰もそのような指示はしていないのに、数十人もの生徒が自ら進んで感じたこと、考えたことをたくさん書いて投函していました。系数豪でも同じように、関係のない私語をすることなく最後までガイドさんの言葉を聴き取っていました。途中のバス中でバスガイドさんもそれらにまつわる話をしてくださいましたが、シンとして聴き入っていました。修学旅行が無事に終えた報告を兼ね、奥谷先生にもこれらの様子をお伝えしたところ、四中生の誠実さと真摯さを感じていただきました。沖縄戦や平和について考えることがこの修学旅行で終わりではなく、これからの生活の中で今回考えたさまざまなことを活かしていけるような取組等を今後も考えていきたいと思っています。

生徒の皆さんへ。修学旅行や校外学習では、その本番や取組の中で楽しかったことやうまくいったことがたくさんあったと思います。修学旅行では3年生の皆さんの素敵な姿をいっぱい見ることができました。見学や体験活動での集中力、バスの中での一体感、特に学年レクの盛り上がりはとても良かったです。マリン体験のインストラクターさんや添乗員さんなど、修学旅行でお世話になった方々が口を揃えて「なんと素晴らしい学校(“良い”評価も“悪い”評価も「学校」なのです)なのでしょう」でした。皆さんにとっては「当たり前」のことだったのかもしれませんが、他の多くの団体をみている方は皆さんの行動の素早さ、集団としてのまとまりの良さや質の高さに感激されていました。集中するとき、頑張るとき、楽しむときの「切り替え」は本当に素晴らしいと思います。この雰囲気でもこれからも四中を盛り上げていって欲しいです。一方で「課題」があったかもしれません。自分にとっての「課題」なのか、あるいは学級や学年にとっての「課題」なのか、「総括」でしっかり明らかにしましょう。「課題」に対してどのように取り組んで改善していくか、これが次の成長へのステップになると思います。そのようにして行事を経る毎に個人でも集団でも、さらに成長していけるといいですね。「課題」を「意識⇒改善」することはとても大切です。私たちにとって、何が「課題」なのかを限られた時間の中でまずは見極めることが重要です。

さて、今年は創立40周年を迎える記念の年です。すでにPTAOB会の皆さまを中心として実行委員会が立ち上がっております。この記念にあたり、生徒の皆さんの意見を聞くために今後アンケートをお願いすることがあると思いますので、その時は協力をお願いします。生徒会本部役員の皆さんや各実行委員会の皆さんにも協力をお願いします。長四中がこれから先もずっと、生徒の皆さんが「明日も楽しく学びに行きたくなる学校」として、生徒の皆さんにとって「魅力ある学校」として、益々輝いていけるよう、より良い取組を四中のみんなが進めていきましょう。

